

解体工事特記仕様書

1 工事名 平成 30 年度 静岡県立こども病院 医師宿舎 C 棟解体工事

2 発注者 地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院 院長 坂本 喜三郎

3 施工箇所 静岡市葵区漆山地内

4 工事概要

医師宿舎 C 棟を解体し、跡地を整地する。なお、跡地は、駐車場に整備する予定がある。

(1) 医師宿舎 C 棟 鉄筋コンクリート造 2 階建

延床面積 293.12 m² (建築面積 146.56 m²)

(2) 樹木伐採・伐根・撤去

(3) 整地

(4) 医師宿舎内備品撤去

5 要求性能

安全に配慮し、関係法令を遵守した解体・廃棄物の処理を行う。

特に、解体工事については、建築物解体工事共通仕様書（平成 24 年版）国土交通省大臣官房営繕部にに基づき施工するとともに、廃棄物処理に関しても関係法令を遵守すること。

6 特記仕様

(1) 発生材で発注者に引渡しを行うものは原則ない。なお、スチール物置（4 個）については、隣接する新保育所建設予定地に移動するものとする。

(2) 解体建物四周は、防音シートを施工する。

(3) 電気・ガス・水道が、解体する棟以外の棟ともつながっているため、切り離しが必要になるので、調査・協議を行い、適切な措置をとること。

(4) 解体敷地における各種配管類は、処理対象とする。なお、敷地内のトレンチ上部（G L－800mm）を解体撤去し、塞ぎをすること。

(5) 労働安全衛生法、石綿障害予防規則、廃棄物の処置及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、その他関係法令を遵守すること。

(6) アスベスト含有建材・保温材等の処分は工事費に含む。

(7) 基礎解体までを工事範囲とし、杭の解体は行わない。

(8) 解体後の埋め戻しを行い、地均し後整地する。購入土は原則ないものとする。土の過不足が生じる場合は監督員と協議する。

(9) 鉄筋やコンクリート等、使用材料の運搬に関しては、関係法令を遵守し、歩行者や通行車両等に十分に注意し、事故の発生を未然に防ぐこと。

(10) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 12 年 5 月 31 日法律第 104 号）に該当する解体工事であるため、関係法令を遵守し、適正な措置を講ずること。
なお、分別解体・再資源化等が完了したときは、同報 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告すること。①再資源化等が完了した年月日、②再資源化等をした施設の名称及び所在地、③再資源化に要した費用。